

平成29年度 第9回クラスター研究会 ～医療機器産業におけるイノベーションの胎動～

開催報告

2018年3月27日（火）日本橋ライフサイエンスハブにて、今年度最後のクラスター研究会を開催いたしました。ものづくり企業、製販企業、臨床機関、研究機関、行政・支援機関などから、約130名の方にご参加いただきました。お忙しいなかご来場いただき、ありがとうございました。

クラスター研究会

3名の講師をお招きし、医療機器開発に関する最新の動向、具体的な実践事例について、ご講演いただきました。



会場内客席の様子

基調講演「医療分野の研究開発とオープンイノベーションの重要性」

自治医科大学 学長の永井 良三氏より、統計的なデータを踏まえながら、最近の医療分野の研究開発の動向をお話いただきました。



永井氏によるご講演

講演「中小企業による医療機器の治験および承認を経験して ～メニエール病治療デバイスの開発から学んだこと・伝えたいこと～」

第一医科株式会社 代表取締役社長の林 正晃氏より、試行錯誤しながら、医療機器の治験及び承認を進め、その経験から学ばれたことをお話いただきました。



林氏によるご講演

講演「折り紙で命を救う ～折紙工学による医療機器開発の可能性～」

北海道大学 高等教育推進機構・情報科学研究科 特任准教授の繁富（栗林）香織氏より、平面上に培養した細胞を折りたたんで立体的な形を作る「細胞折り紙」の研究など、医療分野における折り紙工学の可能性をお話いただきました。



繁富（栗林）氏によるご講演

交流会

交流会では、ご参加いただいた製販企業、ものづくり企業、行政・支援機関など、関係機関の間での名刺交換、および情報交換が活発に行われました。

また、交流会のなかで、医療機器関連団体による事業紹介が行われました。



交流会の様子

■医療機器関連団体による事業紹介

- ①一般社団法人 日本医療機器産業連合会
- ②商工組合 日本医療機器協会



医療機器関連団体による事業紹介

★ご参加いただいた皆様からのご意見・ご感想★

- ・講演内容が興味深く、盛況な研究会でした。
- ・異業種からの参入を目指す企業にとって大変有難いです。